

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	12月に初めてグループホームでご家族の希望に添った自然な形での看取りを行った。今後も今回のような看取りを行う為に、ご本人・ご家族と具体的な話を進めていく必要がある。	ご本人・ご家族の希望を充分お聞きし、職員もしっかりと体制を整え、グループホームで自然な看取りを行うことができる。	認知症状の変化や体調の変化があった時など、主治医・看護師・ご家族と話し合う機会を持ち、どのような終末期を迎えたいかなど、気持ちの確認をする。定期的にグループホームでの看取りについて、ご家族へ訪看や看護師から説明をする。	12ヶ月
2	35	夜間想定避難誘導訓練を行ったが、夜勤の職員1人での誘導は限界がある。消防署やご家族から問題点をいくつか指摘され、誘導の方法など改善の必要がある。	職員全員が災害時(特に夜間)の避難方法を理解し、落ち着いて冷静に避難誘導を行うことができる。近所の方々に協力していただく。	火災等の災害時(特に夜間)の避難誘導方法の勉強会を定期的に行い、職員全員が落ち着いて避難誘導できるようにする。年2回の避難誘導訓練では消防署・地域の方・ご家族に意見をいただき、職員1人でも誘導できるより良い方法を検討する。	12ヶ月
3	23	年々認知症状が進行し、意思疎通が難しくなっている利用者さんの本当の思いや希望を把握することが出来ていない。	お一人お一人それぞれの個性・思い・認知症の症状を職員全員が理解し共有し、その方が生き生きと生活できるような支援ができる。	会話だけでなく表情やちょっとしたしぐさなどから思いを探り、カンファレンス等で情報を出し合い、職員全員が情報を共有し、その方の思いに添ったケアを実践する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。